

基本券 5,000円 → **9,000円に増額**

高齢者いきいきおでかけ支援事業



高齢者いきいきおでかけ券を使うには

おでかけ券について

- 基本券 **9,000**円分 (100円券×90枚)
- 加算券 **1,000**円分 (100円券×10枚)
※加算券は下記に該当する人に交付します。
 - ①離島在住者 (大島・度島・高島)
 - ②老人クラブ、いきいきサロン、通いの場に参加している人
- 有効期限 6月1日(木)～令和6年3月31日(日)
- 利用方法 交通機関、公共施設および温泉施設(協力機関)で、1回の利用につき1人10枚(1,000円)まで使用できます。

高齢者いきいきおでかけ券を使うには

申請手続

- 申請期限 令和**6年3月29日**(金)まで
- 申請場所 長寿介護課高齢者支援班(1階⑬番窓口)、各支所・出張所、度島連絡所
- 申請に必要なもの
 - ※申請書類は、**全対象者の自宅宛てに、5月中旬ごろに郵送します。**
 - 窓口の場合 6月1日(木)から受付
 - ▼本人が申請する場合
 - ①おでかけ券交付申請書(本人宛通知に同封)②本人確認ができるもの(運転免許証・健康保険証など)③本人の印鑑
 - ▼代理人が申請する場合
 - 上記①②③、④代理人の本人確認ができるもの(運転免許証・健康保険証など)、⑤代理人の印鑑
 - 郵送の場合
 - ①おでかけ券交付申請書(本人宛通知に同封)
 - ※本人宛通知に同封の返信用封筒で郵送してください。(切手不要)

対象者

- 平戸市に住民登録しており、下記に該当する人
- 75**歳以上の人(令和5年4月1日現在)
 - 70**歳以上 **75**歳未満で運転免許証を自主返納した人(令和5年4月1日現在で70歳以上の人)
※ただし次の人は対象になりません。
 - ①介護保険施設に入所中の人
 - ②障害者支援施設に入所中の人
 - ③原付免許のみ自主返納した人
 - ④平戸市心身障害者福祉タクシー助成事業で助成を受けている人

70歳以上75歳未満で運転免許証を自主返納した人の場合
運転免許の取消通知書または自動車運転経歴証明書と②③(代理の場合、②③④⑤)

事前申請窓口を設置します

おでかけ券の事前申請窓口を開設します。
※事前申請窓口終了後も各支所・出張所で受付

日にち	受付時間	ところ
5月22日(月)	午前10時～正午	大島支所
5月23日(火)	午前9時～正午	ふれあいセンター(中部)
5月24日(水)	午前9時～正午	多目的研修センター(南部)
5月25日(木)	午前10時～正午	ふれ愛センター度島
5月26日(金)	午前9時～正午	田平支所
5月29日(月)	午前9時～正午	生月支所
5月30日(火)	午前9時～正午	館浦出張所
5月31日(水)	午前9時～正午	平戸市役所

特集
すくすくいきいき
ライフサポート【シニア編】
シニアの皆さんが、「いきいきとセカンドライフを満喫できるよう、今年度は「平戸市いきいきおでかけ券」を増額して発行します。

問 長寿介護課高齢者支援班 ☎22・9133



高齢者の外出をサポート
「超少子高齢社会」となった平戸市の高齢化率は40パーセントを超え、全国的にも高い水準です。
人口の4割以上を占める高齢者の皆さんが、住み慣れた地域で自分らしく暮らすことができるまちをつくることは、平戸市の重要な課題の1つです。
特に、高齢者の皆さんの社会参加や外出機会の拡大を促すことは、社会とのつながりをつくり、心の充実感や生きがいを感じてもらうなど、介護予防につながるために必要不可欠です。
加えて、近年はコロナ禍により、高齢者の社会活動機会の減少が社会問題となっています。
そこで平戸市では、これまで実施してきた「高齢者いきいきおでかけ支援事業」を、本年度から拡大して実施します。
この機会に「おでかけ券」を使って、おでかけしてみませんか？

ここで使える! あそこでも使える! 高齢者いきいきおでかけ券協力機関



高齢者いきいきおでかけ券は、交通機関をはじめ、温泉や博物館、プールなどの各種施設で利用できます。

○協力機関一覧表

種 別	対 象 施 設
コミュニティバス	中野コミュニティバス、津吉コミュニティバス、志々伎コミュニティバス、度島コミュニティバス
デマンド型タクシー	田平まちづくり協議会(たびらんタクシー)
タクシー業者	シルバータクシー、マンボウタクシー、中部タクシー、ハマサキタクシー、生月自動車
介護タクシー	平戸市社会福祉協議会
定期航路	フェリー度島、フェリー大島、津吉商船、宮の浦定期船
鉄道	松浦鉄道
ふれあいバス	大川陸運、ケイライン、平戸市
路線バス	西肥バス、生月自動車、さつき観光
温泉施設	ホテル彩陽WAKIGAWA、(株)ニュー平戸海上ホテル、国際観光ホテル旗松亭 湯快リゾート ホテル蘭風、平戸たびら温泉サムソンホテル
公共施設	平戸オランダ商館、平戸市生月町博物館・島の館、シーライフひらど

協力機関の皆さんの声

おでかけ券をもっと知ってほしい

津吉地区まちづくり運営協議会

オンデマンド(予約制)で運行している津吉コミュニティバスでは、通院や買い物、南部出張所、美容室などへ行くために、おでかけ券を使って支払う利用者が増えています。

利用者から「おでかけ券があってとても助かる」という声を多く聞くので、事務所に来られたコミュニティバス新規

利用申込者には、おでかけ券の申請方法などを説明するようにしています。

また、運賃を現金で支払おうとされている高齢者には「おでかけ券はお持ちではありませんか?」とお声掛けすることを心がけています。

今年もおでかけ券の申請受付が開始されるということなので、利用者や、地区のよかよか体操の参加者に、ぜひ申請するようご案内しようと思います。



▲津吉コミュニティバス

Interview



いわお 岩男 キクエ さん
(大久保町)

水泳を続けることが生きがいに
20年前からシーライフひらどを利用しています。去年おでかけ券の対象者になりましたので、さっそくシーライフひらどでおでかけ券を使わせていただき、健康のために水泳をしています。
実は、水泳は75歳までで辞めようと考えていたこともあったのですが、そんな時おでかけ券を使ってシーライフひらどを利用できるということを知って、「まだまだ私はできる!」と自分を奮い立たせて健康増進のために続けています。健康のために始めた水泳でしたが、今では生きがいになり、泳ぐことがとても楽しみです。
今年からおでかけ券の対象者になる知り合いにもおでかけ券の申請をオススメしています。とても楽しみにしていました。
皆さんもぜひ、おでかけ券を申請してお出かけしてみてください。

Interview

おでかけが認知症予防に
平成30年からおでかけ券を申請しています。当初はほとんど車で出かけていたので、全額分を使っではいませんでした。
しかし、おでかけ券は交通機関だけではなく温泉施設などでも使えるということを知り、昨年の10月ごろから夫婦で温泉施設を利用するようになりました。おでかけ券で月に2回ほど利用し、体も心も癒されています。
今年も健康のために温泉利用におでかけ券を使わせていただきます。

今年からおでかけ券の金額が増えるということなので、たくさん出かけたと思います。
早おでかけ券を使って、友人とも温泉に行ったり、西肥バスで佐世保市へ木彫りの展示会に行ったりもしました。
友人と会ってゆっくりおしゃべりしたり、食事したりという時間が認知症予防になっていると思います。
おでかけ券がそのきっかけになりましたので、とてもありがたいと思います。



ふるかわ 敏 古川 敏郎 さん (写真左)
ふるかわ 早 古川 早苗 さん (写真右)
(鏡川町)

他にもこんな声が上がっています

- 友人、子ども、孫に会うのに使います。
- 健康維持、増進のため温泉利用したいと思います。
- OMRに久しぶりに乗ってぶらっと出かけた。
- 千円でどこまで行けるか試したい。
- 運転免許証を自主返納したので、タクシー利用が多くなり助かります。
- タクシーを利用して図書館に行くことが出来る。家での「引きこもり」解消が出来て大変良い。

利用者の皆さんの声

こんなことに使っています